

- 既存の制度では支えられない人を支援するとともに、新たな支え合いの仕組みづくりを目指し、区内8圏域の高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）のうち、モデル事業として中央圏域にコミュニティソーシャルワーカーを配置する。
- 一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の生活状況および緊急連絡先等を把握し、民生・児童委員、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）等の見守り活動に活用することにより、地域の高齢者の潜在的な需要や問題等を早期に発見し、必要なサービスの提供につなげる体制を構築する。
- 認知症への理解・対策、障害者の権利擁護に関する制度について、周知を図り普及に努める。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ コミュニティソーシャルワーカーの配置 4
- ◆ 一人暮らし高齢者等実態調査及びアウトリーチ事業 11
- ◆ 認知症対策事業 17

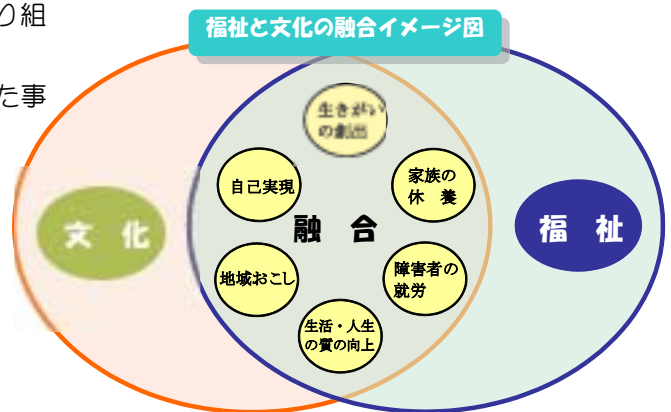
【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
コミュニティソーシャルワーカー配置圏域数	—	1圏域	→	8圏域
高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）アウトリーチ事業による高齢者訪問件数	—	—	1,350件	1,450件
権利擁護支援室成年後見制度相談件数	562件	1,250件	1,450件	1,550件

- 高齢者や障害者の自己実現を支援するため、主体的に文化芸術活動に参加できるプログラムづくりに取り組む。
- 障害者などの創作活動と工賃増や就労に結びつけた事業を推進する。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 障害者文化活動推進事業 42
- ◆ 介護保険ライブラリーの運営 41
- ◆ 点字図書館障害者サービス事業 284



【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
介護保険ライブラリー利用件数	—	455件	2,500件	4,000件
ふくし健康まつり来場者数	9,762人	12,755人	14,000人	16,000人
さをり織り売上げ高	654,170円	500,000円	15%増	20%増



【ときめき想進展（障害者美術展）】

福祉

3

いつまでも元気あとおしみんなの手

- 高齢者元気あとおし事業や地域支え合いサポーターの育成等を推進することにより、社会参加・地域貢献活動への参加意欲を高める。
- 介護予防自主グループの仲間づくりを進め、地域で相互に支え合える仕組みづくりを促進する。
- 地域の活力の担い手としての高齢者の輪を広げる。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 高齢者元気あとおし事業 37
- ◆ 地域介護予防活動支援事業 39
- ◆ シルバー人材センター運営費助成事業 21



【介護予防自主グループ交流会】

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
高齢者元気あとおし事業登録者数	—	223人	400人	550人
介護予防自主グループ数	17グループ	20グループ	26グループ	31グループ

福祉

4

みんなで育むハートフルな介護保険

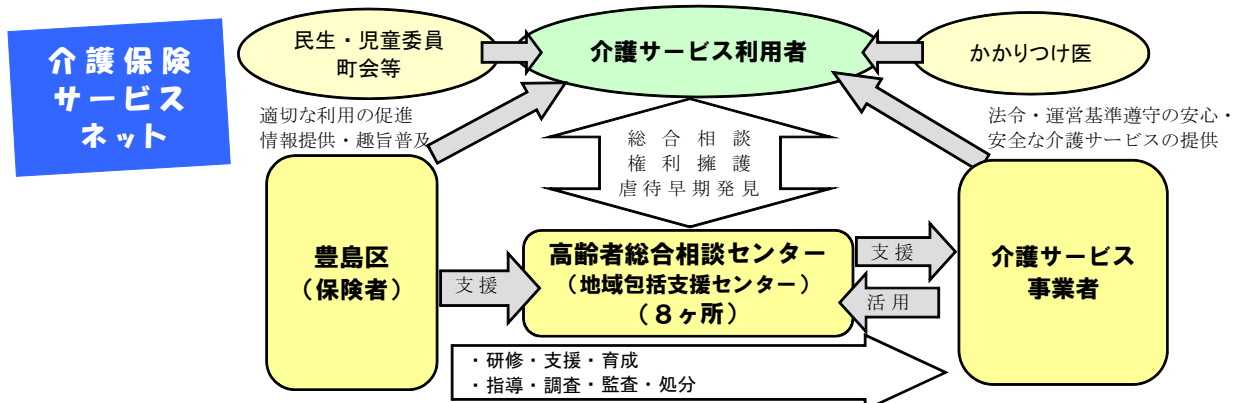
- 利用者のニーズに的確に応えられるよう、高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）の機能を高めるとともに、専門相談員、町会・民生委員、介護サービス事業者等によるネットワーク化を促進し、地域における高齢者への支援を推進する。
- 区民への制度の理解を深めるための普及・啓発活動を促進するとともに、サービス事業者に対する指導・育成の強化、介護給付における適正化を進め、不正事業者へは厳正に対応することにより、的確で安定した制度運営に取り組む。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）運営事業 7
- ◆ 介護給付適正化・不正事業者対策事業 15
- ◆ 介護相談員事業 6

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
介護サービス事業所個別指導件数	28件	97件	120件	150件
相談件数（年間）	54,941件	74,936件	94,936件	102,530件
【再掲】介護保険ライブラリー利用件数	—	455件	2,500件	4,000件



- 退院可能とされている精神障害者や入所施設から退所希望の知的障害者が安心して地域生活が送れるように、地域移行推進員を配置し、地域の関係機関と連携して地域生活への移行を促進する。
- 福祉的就労施設との協力事業である、としまブランド「はあとの木」を充実させ、自主製作品の付加価値を高めるとともに、受注量の増加や利用者の工賃アップを図る。
- 障害者就労支援センターの運営を強化し、就労支援員（ジョブコーチ）の体制強化を図る。また、就職している障害者が悩みなどを相談し合える場（ほっと・サロン）を提供し、就労定着支援を行う。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 障害者地域生活移行促進事業 10
- ◆ 「はあとの木」運営支援事業 29
- ◆ 障害者就労支援事業 26
- ◆ ほっと・サロン事業 27

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
障害者の地域生活への移行者数	退院可能な精神障害者数 100名（17年度）	15名	（累計）47名	（累計）60名
	福祉施設入所者数 193名（17年度）	9名	（累計）35名	（累計）35名
就労支援センターを経て就職した人数（短時間雇用を含む）	10名 （18年度）	23名	（累計）128名	（累計）164名
就職継続率（2年以上）	—	75%	80%以上を保つ	80%以上を保つ
「はあとの木」参加事業所の1人当たり平均工賃（月額）	8,203円 （19年度）	9,593円	11,100円	15,000円

- 大規模特別養護老人ホーム（100床程度）1ヶ所の整備を図り、待機者の解消を目指す。
- 身近な地域で在宅の介護を支えるために、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護、認知症高齢者共同生活介護等の地域密着型サービス施設の整備を推進する。
- 障害者のグループホーム・ケアホームを誘致する。
- 施設整備に当たっては、区有地の活用を図る。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 地域密着型サービス等の基盤整備 45
- ◆ 福祉基盤等整備費助成事業
（障害者グループホーム等整備費助成事業） 46



【特別養護老人ホーム 菊かおる園】

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
特別養護老人ホーム整備数	8施設	8施設	8施設	9施設
地域密着型サービス整備数	19施設	* 18施設	29施設	29施設
知的・精神障害者グループホーム・ケアホームの整備数	16施設	18施設	24施設	24施設

* 夜間対応型訪問介護事業所が平成20年12月1日より休止となったため、1カ所減。